

平成29年6月12日
株式会社 愛知銀行

「受精卵移植用ドナー牛」を担保としたABL（動産担保融資）の取組みについて

株式会社愛知銀行（頭取 矢澤勝幸）は、このたび有限会社知多大動物病院に対し、「受精卵移植用ドナー牛」を担保としたABL（動産担保融資）を実行しましたのでお知らせいたします。なお、受精卵移植用ドナー牛を担保とした当行の第1号案件です。今後も愛知銀行は、お取引先の事業性の適切な評価を通じ、地域経済に資する活動を展開してまいります。

ABL（動産担保融資）とは、企業の事業そのものに着目し、従来資金調達に未活用であった商品在庫等の棚卸資産や売掛金を担保に融資するものであり、**不動産担保に過度に依存した融資スタイル**から脱却した新たな融資手法です。

【取組概要】

会社名	有限会社知多大動物病院
代表者	工藤 秀男
業種	獣医業（家畜診療、和牛受精卵作成、移植、販売等）
資本金	10M
設立	平成7年8月29日
融資契約額	80M
事業概要	家畜診療（以下）を主とする動物病院。 本院（半田市）、飛騨分院（岐阜県高山市）、富士分院（静岡県富士宮市）、三重分院（三重県亀山市）の4カ所で、乳牛約7,900頭、肥育牛約8,500頭程。

以上